

一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会
2016（平成28）年度定時社員総会 議事録

1. 開催日時：2016（平成28）年8月27日（土） 12：20～13：20
2. 場 所：高知県立ふくし交流プラザ 2階大ホール（第31回リハ工学カンファレンス会場）
（高知県高知市朝倉茂375-1）
3. 社員総数 94名（議決権は、各1個）
出席社員数 72名（うち議決権行使書提出者数19、委任状提出者数17（議長16、米崎二郎氏1）
※オブザーバー（協会正会員および学生会員）出席者数 9名

出席理事（社員） 繁成剛（会長（代表理事））、石濱裕規、岩崎満男、沖川悦三、金井謙介、
杉本昌子、高原光恵、中村俊哉、水澤二郎、宮野秀樹

出席監事（社員） 相川孝訓、赤澤康史

出席理事 剣持悟、畠中 規、山形茂生、吉田泰三

議決権行使書 19名

委任状：議長 17（議長16+米崎二郎1）名

欠席理事 無し

議事録署名人

片石任（一般財団法人啓成会）

小林博光（総合せき損センター）

4. 審議事項

- | | |
|--------------------------|------------|
| 第1号議案 2015年度事業報告（案） | （資料1） |
| 第2号議案 2015年度決算報告（案）／監査報告 | （資料2）（資料3） |
| 第3号議案 定款の変更 | （資料4） |
| 第4号議案 2016年度事業計画（案） | （資料5） |
| 第5号議案 2016年度収支予算計画（案） | （資料6） |

5. 社員総会資料

- | |
|---|
| 資料1 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2015年度事業報告（案） |
| 資料2 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2015年度決算報告（案） |
| 資料3 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2015年度監査報告 |
| 資料4 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 定款の変更（案） |
| 資料5 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2016年度事業計画（案） |
| 資料6 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2016年度収支予算計画（案） |

6. 議事の経過の概要及び議決の結果

総務統括担当の水澤理事より、本日の社員総会は定款第28条、29条により定数を満たしたので、有効に成立した旨、開会の辞を述べた。

定款第31条第2項「議長及び出席した社員の中から選任された2名の議事録署名人は、前項の議事録に署名又は記名押印する。」より、出席の代議員より議事録署名人2名を選出した。

審議は密接に関係する内容は一括説明とし、議案ごとに個別に決議することとした。

定款 28 条第 1 項

「社員総会の決議は、法令又はこの定款に別段の定めがある場合を除き、社員総数の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した社員の議決権の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の裁決するところによる。」

定款第 29 条第 1 項

「社員総会に出席できない社員は、あらかじめ通知された事項について書面若しくは電磁的方法により表決し、又は他の社員を代理人として表決を委任することができる。」

同条第 2 項

「前項の場合における前 2 条の規定の適用については、その社員は出席したものとみなす。」

なお、総会資料は事前に配布しており、会員には協会ホームページから配布しているため、原則としてこの場で改めて読み上げることとはせず、また事前受付した質問・意見等は 2 名 (9 件) であり、これについては議案毎に説明することとした。また、資料内の誤植や表現方法の統一についてご指摘いただいた箇所については修正させていただきこととし、詳細に関しては協会誌掲載の総会議事録および修正版総会資料にて報告することとした。

第 1 号議案 2015 年度事業報告に関する事項

議長より社員総会資料 1 に基づき、その説明がなされた。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

■承認 71 名 (出席代議員 35 名(議長除く)、議決権行使書 19 名、委任状 17 名)、非承認 0、棄権 0 名

【事前に提出していただいた、本件に関わる質問に対する回答】

◆質問・意見 (敬称略)

田中芳則 (なごや福祉用具プラザ) : 第 1 号議案 (資料 1 2 ページ 5 行目) に「第 30 回リハ工学カンファレンス in おきなわの開催」において、「情報保障では市民公開講座で手話通訳を、……」との表記がありますが、発表セッションでの聴覚障害者の情報保障の要望があったかどうかをお聞きしたい。要望があった場合にはどれくらいの頻度(100%応じることができたのか、50%だとか)で情報保障できたかをご説明いただきたい。

■回答 (剣持) : 情報保障の要望の有無、要望あればそれに対する対応の割合についてですが、聴覚障害者の情報保障の要望はございませんでした。

◆質問・意見 (敬称略)

田中芳則 (なごや福祉用具プラザ) : 第 1 号議案 (資料 1 2 ページ 9 行目) に「当カンファレンスへの参加者数は 275 名」との表記がありますが、下にある表では 264 名しか書かれていません。差分の 11 名が無料での参加者でしょうか? 表記の仕方を明確にし、つじつまの合うように説明してください。

■回答 (剣持) : 介助者 11 名の人数を加えた数字で記載してしまいました。混乱を招く表現で申し訳ありません。

◆質問・意見 (敬称略)

田中芳則 (なごや福祉用具プラザ) : 第 1 号議案 (資料 1 2 ページ 9 行目) の「2-2. 福祉機器コンテスト関連」のところで、結果報告書と同様に、「応募結果 応募総件数 61 件(機器開発部門 27、学生部門 34)」を示すべきと思います。また前年度に比べて応募件数が増えているのか、減っているのかも示すべきと思います。追加・修正願います。

■回答 (山形) : その前年度 (2014 年度) の応募件数は機器開発部門 28、学生部門 17、計 45 件、過去 10 年の平均件数では、機器開発部門 30 件 (最大 42 件、最小 21 件)、学生部門 27 件 (最大 39 件 (3 年間)、最小 14 件) であり、学生部門で増加していました。

◆質問・意見 (敬称略)

田中芳則 (なごや福祉用具プラザ) : 第 1 号議案 (資料 1 4 ページ目) の、「4) その他」において、「協会誌電子化の範囲と対象等につき、……」とありますが、協会誌電子化はいつごろを考えておられるでしょうか? 時期がわかるようでしたら説明をお願いします。

■回答（石濱）：2015年度は編集委員に電子化についてのアンケート実施後、理事会に報告審議しました。2016年度は第1回理事会において、議案「協会誌のJ-stage（総合電子ジャーナルプラットフォーム）登録について」が承認され、電子公開に関する投稿規定が改定された2006年21巻4号以降の投稿記事を申請対象としているところです。今年度の申込みは定数枠に達しているため、次年度掲載分を申請予定です。

◆質問・意見（敬称略）

田中芳則（なごや福祉用具プラザ）：第1号議案（資料1 6ページ 17行目）の、「2）セミナー開催」にて、「見学者が入れ替わりながらも常時20～30人程度あった。」とありますが、4つ表記されているセミナーのうち、上記のように1つのみしか人数の言及がありません。ほかのセミナーについても見学者や参加者について人数を明記すべきであり、記述様式を統一してください。

■回答（繁成・中村・金井）：記述様式を統一し、人数を明記したものを協会誌の総会議事録掲載号に掲載します。

◆質問・意見（敬称略）

田中芳則（なごや福祉用具プラザ）：第1号議案（資料1 7ページ 17行目）の、「2-6. 国際関連の事業」で「国際関連の取り組みについて協会誌に報告記事を掲載した。」とありますが、掲載された協会誌はNo.いくつでしょうか？わかれば明記してください。

■回答（畠中）：「31-1 報告：日本リハビリテーション工学協会の国際連携の現状（井村氏）」に掲載しています。

第2号議案 2015年度決算報告（案）／監査報告

議長より指名を受け財務担当理事より社員総会資料2に基づきその説明がなされた。

承認された第1号議案にある通り、昨年度、財務・財務管理体制について再検討し、契約している公認会計士との協議の結果、今回は昨年度とは異なる書式での決算報告をさせていただいた。収入総額は、9,859,244円、支出総額は、10,791,544円で、932,300円の赤字となった。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

■承認71名（出席代議員35名（議長除く）、議決権行使書19名、委任状17名）、非承認0、棄権0名

次いで、社員総会資料3に基づき監事より、監査報告として会計監査および業務監査を行い、本会財産は適正に管理運営されており、また総会決議した年間事業は順調に執行されていたことが報告された。なお監査考察及び助言として下記が提示された。

業務監査としては、業務執行状況について監査した結果、理事の職務は法令および当会の諸規定に則り執行され、総会の決議した年間事業は概ね順調に実施されていたものと認めます。

会計監査としては、決算報告書、証拠書類等について監査した結果、本会の財産は適正に管理されていたものと認めます。

- 1) 次年度を含めると4年連続赤字予算を編成しなければならない状況であり、収支バランスをいかに達成するか、総会のご理解の下に進めることが必要と考えます。
- 2) 各理事の負担の平準化、事務局長の負担の軽減も考慮しつつ、突発事象にも動じない当会の事業継続のための具体策についても検討を開始されることを願います。
- 3) 本年4月に発生した熊本地震への対応を外部資金も得て開始されたことに敬意を表します。外部資金の取得経緯を社員の皆様によくご理解いただくとともに、その実施内容については資金提供元への報告と可能な限り時間差なく理事会や会員へも報告願います。
- 4) 新入会員獲得努力にもかかわらず会員が一年間で40名近く減少しました。要因分析に基づきさらに効果的な会員確保方策をご検討ください。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

■承認71名（出席代議員35名（議長除く）、議決権行使書19名、委任状17名）、非承認0、棄権0名

【事前に提出していただいた、本件に関わる質問に対する回答】

◆質問・意見（敬称略）

田中芳則（なごや福祉用具プラザ）：第2号議案（【資料2 試算表】の「708 理事会旅費 2145725円、比率32.5」について、他と比較して比率が高いように思います。少なくともできないでしょうか？圧縮する努力をされているかお聞きしたい。

■回答（高原）：昨年度、理事会旅費が例年よりもはるかに多くの経費が掛かってしまった理由として、まず例年よりも理事会開催数が増えてしまったことが挙げられます。理事会開催回数は、定款に従い、例年開催が必要とされる時期に5回を設定しました。しかし、役員改選に伴い、総会の合間に臨時理事会を開催する必要があったため1回追加し、そして春先の震災対応で臨時として1回追加いたしました。総会中または総会后に臨時理事会を開催する場合、例年ではカンファレンス期間と合わせて開催が可能でしたが、昨年度は時期が重ならず単独開催が必要となり、そうした事情も例外的な状況であったと考えております。また、個々に旅費圧縮の努力はなされていましたが、それ以上に、より多くの役員が参加できることを理事会として重視したため、開催時期によっては各自の日程調整がかなり割安料金での旅費手配が難しかったことも影響したと思われます。これらの要因が考えられ、必要な経費であったと認識していますが、より一層の圧縮努力が可能の部分であると反省しております。

第3号議案 定款の変更

議長より指名を受け、規則選挙担当理事より社員総会資料4に基づき説明がなされた。

2014年度定時社員総会『第5号議案 公益認定申請』において「～公益認定については、1) 当協会の基礎的体力が増えるか、2) 制度改定があり小規模法人に対する特例措置がとられるか、を待つべきと判断した。」との報告をしたが、このことを受けて、一般社団法人として安定した組織運営（ガバナンスと事務局体制）ができる体制づくりを念頭に、あらためて定款及び各種規定の見直しを行った。

当協会は、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年法律第48号）」（以下一般法人法）に基づいて設立した社団法人であり、その定款は同法の規定及びその関係法並びに施行規則等に倣ってつくられている。一般社団法人に移行した当初は、将来の公益認定申請を考慮した定款内容としたが、一般社団法人としての協会運営を実施する上で、このことが馴染まない規定があることも事実である。そこで、より安定した組織運営（ガバナンスと事務局体制）を維持することを目的とし、一般社団法人としてふさわしい定款に変更しておくことが必要と判断した。また、現定款において、修正の必要を認める字句がありこれも合わせて変更したい。

については、定款第61条第1項（定款の変更）に基づき、ご承認の決議をお願いしたい。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

■承認71名（出席代議員35名（議長除く）、議決権行使書19名、委任状17名）、非承認0、棄権0名
※定款変更は社員総数の3分の2（62名）以上の承認が必要である。

第4号議案 2016年度事業計画（案）

議長より社員総会資料5に基づき、その説明がなされた。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

■承認71名（出席代議員35名（議長除く）、議決権行使書19名、委任状17名）、非承認0、棄権0名

第5号議案 2016年度収支予算計画（案）

議長より指名を受け、財務担当理事より社員総会資料6に基づき説明がなされた。

監査役からの収支バランスに関する指摘があり、極力、支出削減の努力は行ったが国際関係や災害対策などの新規事業もあり、今年度も赤字となった。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

■承認71名（出席代議員35名（議長除く）、議決権行使書19名、委任状17名）、非承認0、棄権0名

【事前に提出していただいた、本件に関わる質問に対する回答】

◆質問・意見（敬称略）

田中芳則（なごや福祉用具プラザ）：第5号議案（資料6 26ページ）の 2016年度予算書について、理事会旅費が予算書では1,400,000円となっています。前年度2,145,725円を支出していますが、今年度は理事会旅費が70万円余りも少なくなり、圧縮できると試算されていることだと思いますが、根拠を示していただけませんか？

■回答（高原）：今年度の予算削減の根拠について申し上げます。予算としては大変厳しい金額ではありますが、大幅に増額した昨年度を除き、過去数年分の実績ベースを参考に設定しています。また、現状では、今年度の理事会開催も例年通りの5回を予定しておりますが、定款変更に伴い、定期的な財務状況の把握もしやすくなることを見込まれること、昨年度と同じ役員構成であり、より効率的な理事会参加・運営準備が見込まれること、必要に応じて開催数の削減・調整も可能となること、など、昨年度よりも経費削減の努力ができる状況がそろっていると見込まれます。

◆質問・意見（敬称略）

森田千晶（国際医療福祉大学）：赤字運営が続いていること、会員数減少していることについて、対応策を考える必要があると思います。

■回答：赤字運営および会員減少については理事会において痛感しており、会員獲得努力をしてきました。協会活動および広報をしているがなかなか具体的に数字としてつながりません。カンファレンス発表後の退会者の軽減と会員獲得が課題です。赤字運営については根本的な解決ができずにいます。主要事業は継続し、経費削減努力をしていきたいが、国際事業も含めた他事業も必要であり、限界があるため、会費値上げ等の必要が出てくるかもしれません。その際には明確な根拠を提示できるようにしていきたいと思います。

議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の2016（平成28）年度定時社員総会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（13時20分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に記名・押印する。

2016年8月27日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2016（平成28）年度定時社員総会

議 長 繁成 剛 ㊟

議事録署名人 片石 任 ㊟

議事録署名人 小林 博光 ㊟